

REPORT

一般財団法人 自治体国際化協会(CLAIR) ロンドン事務所 所長補佐

濱本 京平 (徳島県派遣)

「責任ある漁業」とは？ 英国のエシカルなお魚事情



ロンドン、バラ・マーケットの鮮魚店

英国ではロックダウンの解除が進み、5月からはパブやレストランなどの飲食店も営業を再開しはじめました。およそ1年間もの間、辛く厳しい日々を送ってきた反動もあり、夕方になるとパブは大勢のお客さんで賑わっています。

さて、英国のパブには、ビールやウイスキーといったお酒も勿論



フィッシュ・アンド・チップス。酢や塩コショウ、ケチャップなどをたっぷりかけて味わうのが英国流。

ですが、いわゆる「パブ・フード」と言われるフードメニューも欠かせません。その中でも英国を代表するパブ・フードの一つに、日本でも有名な「フィッシュ・アンド・チップス」が挙げられます。サクサクの衣と魚のホロリとした食感が楽しく、お腹もいっぱいになります。

英国人は魚介類をあまり食べませんが（日本人一人当たり年間消費量の半分以下ⁱ）一方で水産業は英国にとって重要な産業です。英国が面している北海や北大西洋は、世界でも有数の好漁場として知られています。少し古い統計ですが、2014年時点での英国の水産物の輸出額はおよそ2700億円ⁱⁱ（当時のレート）で、日本の水産

物輸出額（約2000億円）ⁱⁱⁱを上回っています。

実際スーパーに行ってみると、英国の近海で獲れた様々な種類の魚がパックされて並べられています。そのパッケージを手にとると、ほとんど全てのパッケージに「Responsibly Sourced Fish（責任ある漁業で漁獲された魚）」という文字やマークが記載されています。これは一体何のことでしょうか。

水産物は、農業や畜産業に比べ、自然界から直接資源を得る割合が高い産業ですから、その資源管理には特別な注意が必要です。「責任ある漁業」とは、国連食糧農業機関（FAO）において1995年に採択さ



英国のスーパーに並ぶ鮮魚。スーパーでは切り身での販売が主流。

濱本 京平 (徳島県派遣)

「責任ある漁業」とは？ 英国のエシカルなお魚事情

れた、水産資源の持続的な開発と利用を促進するための漁業のための政策理念で、これについて定めた「責任ある漁業のための行動規範」は、日本を含むFAOの194の加盟国、2つの準加盟国、1つの加盟組織（EU）だけでなく、FAO非加盟国やNGO、漁業関係者などにも採用され、漁業の持続可能性が向上するなどの効果が出ています。^{iv}

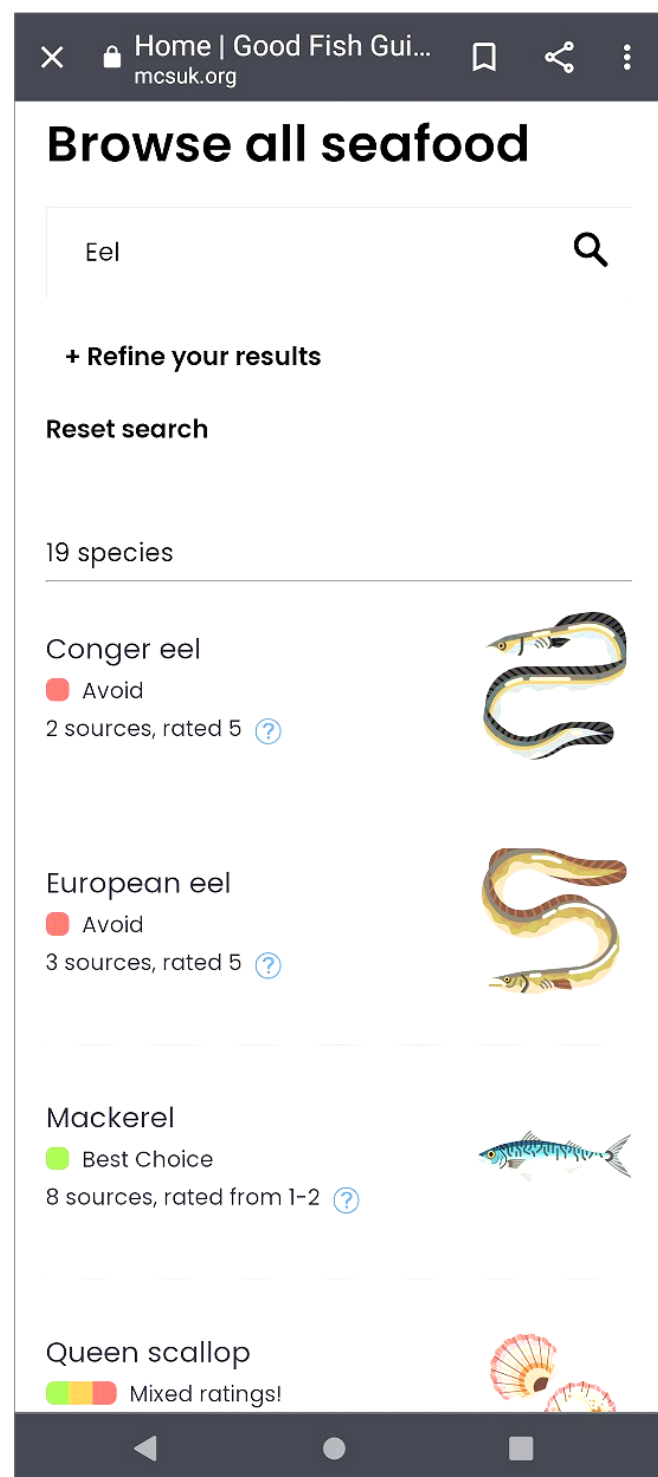
この行動規範を守るために様々な規格が策定されていますが、特に有名なものとして、国際的な非営利団体のMSC（海洋管理協議会）が管理するMSC認証をご紹介します。この認証制度では、「資源の持続可能性」「漁業が生態系に与える影響」「漁業の管理システム」という3原則に基づいた規格を満たしていることが、MSC以外の第三者機関による審査によって認められた漁業が、MSC漁業認証を取得できます。MSC認証を取得した漁業による水産物や水産加工物に、MSC「海のエコラベル」を表示することができます。私たち消費者も、

こういった認証ラベルを確認して商品を買うことで、責任ある漁業の推進に貢献することができます。

英国では、王室御用達スーパー「ウェイトローズ」や、ドイツ資本のスーパー「アルディ」が、取り扱う水産物の全てを責任ある漁業により漁獲された水産物に限定しているほか、その他の大手スーパーも、MSCやその他の認証ラベルを付けた製品の取り扱いを増やすなど、責任ある漁業の推進に積極的に取り組んでいます。

また、英国のNPO団体である海洋保護協会は、「Good Fish Guide」という一般消費者向けのウェブサイトを開設しています。このサイトでは、様々な水産物について、その水産物の資源としての持続可能性についての専門的な情報を提供しており、消費者はお店の売り場でスマホを使い、持続可能性の高い水産物を選んで買うことができるようになっています。

日本においても大手小売店が自社ブランド商品でMSC水産物を扱うなど、責任ある漁業への取り組みは日本でも広まりつつあります。「Sushi」や「Sashimi」といった世界に誇る魚食文化を育み、世界でも有数の水産物消費国でもある日本に暮らす私たちも、今一度、責任ある漁業を後押しできるような消費のあり方について考えてみるべきではないでしょうか。



「Good Fish Guide」スマホ版の画面。魚の画像が添えられており分かりやすい。それぞれの魚がなぜ推奨されているのか（避けるべきなのか）の理由も別ページで確認できる。

記事を書くのに参考にしたもの

- i. Fish and seafood consumption per capita, 2017 Our World in Data
- ii. 英国のEU離脱と漁業問題 日本貿易振興機構(ジェトロ)
- iii. 「(4)水産物貿易の動向」農林水産省 https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/r01_h/trend/1/t1_4_4.html
- iv. Twenty Years of the FAO Code of Conduct for Responsible Fisheries



MSC「海のエコラベル」(青い魚のマーク)が表示された水産加工品(サーモン缶詰)